

松島湾の遺跡地図

MATSUSHIMA WAN
HISTORICAL SPOT MAP



TSUNAGARU WAN PROJECT



① 多賀城跡

奈良時代から平安時代にかけて、行政府である国府や軍政を司る鎮守府が置かれ、律令政府の東北支配の拠点となった。

② 多賀城碑

多賀城南門跡近くに立つ石碑。724年の多賀城創建、762年の多賀城改修を示す貴重な文字資料。

③ 多賀城廃寺跡

多賀城と同時期に建立された付属寺院の跡。多賀城跡などと併せ、「多賀城跡附寺跡（たがじょうあとづけたりてらあと）」として国の特別史跡になっている。

④ 多賀城海軍工廠

1943年に開設された軍需工場。おもに航空機用の機関銃や爆弾を製造していた。戦後、跡地は自衛隊駐屯地、学校、民間工場などに活用された。

⑤ 貞山運河

江戸時代から明治時代にかけて開削された運河。「貞山堀」とも。「貞山」は伊達政宗の諱（おりきな）に由来。

⑥ 大代横穴墓群

7世紀から8世紀にかけて作られた豪族の墓跡。斜面に掘られた横穴から刀などの副葬品も発見された。



⑦ 大木団貝塚

縄文時代に営まれた拠点的な集落跡。貝塚のほか竪穴住居なども確認されている。「大木式土器」は東北南部の土器の形を分類する際の基準となった。



⑧ 菅谷横穴墓群

7世紀ごろにつくられた豪族の墓跡。墓穴は100基以上あるといわれる。勾玉や土器なども出土している。

⑨ 塩竈神社

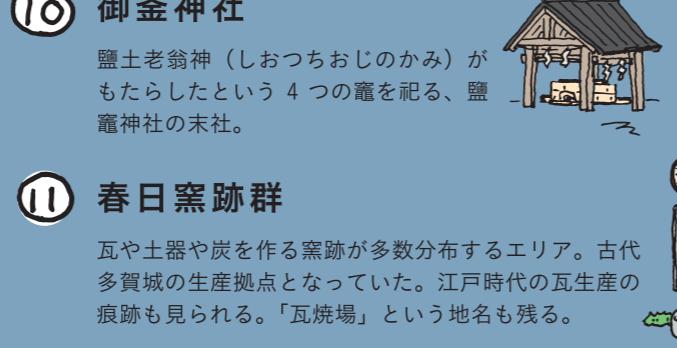
古くから広く信仰を集めてきた神社。創建時期は不明。境内には明治時代に移された志波彦神社もある。

⑩ 御釜神社

鹽土老翁神（しおつちおじのかみ）がもたらしたという4つの釜を祀る、鹽竈神社の末社。

⑪ 春日窯跡群

瓦や土器や炭を作る窯跡が多数分布するエリア。古代多賀城の生産拠点となっていた。江戸時代の瓦生産の痕跡も見られる。「瓦焼場」という地名も残る。



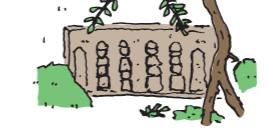
⑫ 浜田洞窟

天然の洞窟を利用したと考えられる遺跡。縄文・弥生時代の土器のほか、近くからは貝塚も見つかっている。



⑬ 雄島

かつて各地から集まった僧が修行に励んだという信仰の島。岩窟や石仏、板碑などが多く見られる。



⑭ 觀瀾亭

仙台藩主の「月見御殿」。もとは豊臣秀吉から伊達政宗がもらい受けた建物といわれている。



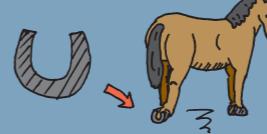
⑮ 瑞巖寺

伊達政宗にゆかりの深い禅寺。平安時代に創建された天台宗の延福寺が起源と伝わる。



⑯ 西の浜貝塚

湾奥部の大規模な集落跡。貝層が馬蹄型に分布する。



⑰ 江ノ浜貝塚

古代の大規模な塩施設跡。多賀城の管理下で操業していたことを示唆する遺物も見つかっている。

⑱ 東名運河

鳴瀬川河口と松島湾を結ぶ水路。明治時代の野蒜築港に伴って整備された。



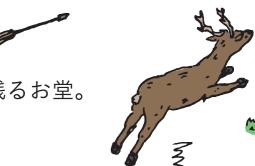
⑲ 野蒜築港跡

明治政府の殖産興業政策のもとで実施され、途中で頓挫した近代港湾建設事業「野蒜築港」の跡。



⑳ 矢本横穴墓群

7世紀から造営され、9世紀初頭まで使われた豪族の墓。関東からの移民が関わっていたと考えられている。

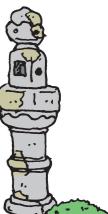


㉑ 医王寺薬師堂

伊達政宗にまつわる伝説が残るお堂。

㉒ 里浜貝塚

縄文・弥生時代の大規模な集落跡。貝層の堆積状態がよく、縄文人の暮らしを探る重要な研究の場となった。



㉓ 白石廣造邸跡

桂島に海運会社「白石商会」を興した白石廣造の邸宅跡。



松島湾について

宮城県沿岸部のほぼ中央に位置する湾。湾内には大小260ほどの島々が浮かぶ。湾の周囲には古くから人が暮らし、文化を育んできた。縄文時代から近代まで、さまざまな遺跡が分布している。



つながる湾プロジェクト

「つながる湾プロジェクト」は、私たちを育んできた松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、味わい、共有化することで、地域や人・時間のつながりを「陸の文化」とは違った視点でとらえなおす試みです。

<http://tsunagaruwan.com>

●主催：つながる湾プロジェクト運営委員会、東京都、公益財團法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
●協力：ビルドルガス、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ
※本事業はArt Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）です。